

# HiKOKI

## 取扱説明書

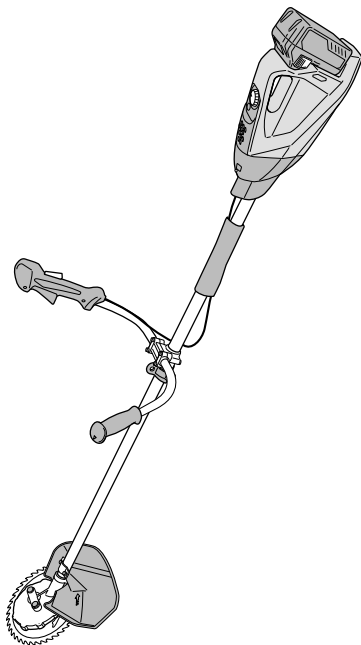
### 用途

- 一般の草刈り、雑草刈り

## コードレス刈払機

36 V CG 36DA      36 V CG 36DA(L)  
36 V CG 36DTA    36 V CG 36DTA(L)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

警告表示について	1
シンボルマークについて	1
コードレス工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	6
USB 機器との接続時のご注意	10
リチウムイオン電池の使用上のご注意	11
各部の名称	13
仕様	15
標準付属品	17
別売部品	18

### 使い方

ご使用前の準備	19
通電ランプについて	28
レバー操作とブレーキについて	29
変速ダイヤルについて	29
電池残量表示について	30
キックバックについて	31
刈払い作業上のご注意	32
草を刈る	33
蓄電池を充電する	35
USB 機器を充電する	37

### その他

保守・点検・整備	39
保管方法	42
故障診断	43
ご修理のときは	裏表紙

# 警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。  
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。











**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

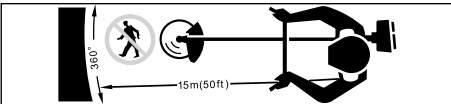
**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているのので、必ず守ってください。

# シンボルマークについて

シンボルマーク	意 味	シンボルマーク	意 味
	取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。		切削物の飛散方向に注意してください。
	保護帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など保護具を着用してください。		キックバックに注意してください。
	飛散防護カバーを所定の位置に取付けてください。		運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。
	刈刃を遠ざけるように両手で持って、運搬してください。		飛散防護カバーのカバーブラケットの取付け位置を示します。
	電源ボタン		通電状態をお知らせするランプです。

シンボルマーク	意 味
	<p>刈払機の作業員から 15 m 以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときも、この距離は守ってください。</p>

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠ 警告

#### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

#### ② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

#### ③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

#### ④ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

#### ⑤ 感電に注意してください。

ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。

感電の恐れがあります。

## 警告

- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
- 手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
- 固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。  
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。  
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠️注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

### ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

### ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

### ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

### ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

### ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

### ① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

### ② 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

### ③ 子供や取扱説明書を良く読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には工具を使用させたり、貸さないでください。

初めて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書を良く読んでから使用してください。

### ④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

### ⑤ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

### ⑥ 始動前に刈刃を点検してください。

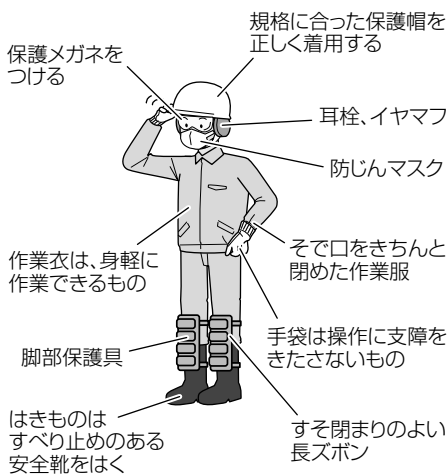
- 刈刃にヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 刈刃が確実に取付けられているか確認してください。刈刃が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

### ⑦ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて作業してください。

取りはずして作業すると、けがの原因になります。

### ⑧ ハンドルは必ず取付けて作業してください。また、ガタつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。また、刈刃は右から左に掃くように作業してください。

作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。



## ⚠ 警告

- ⑨ **モーターを始動する場合は注意してください。**
  - 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
  - 刈刃が地面や草木などに触れていないことを確認してください。  
不用意な始動は、けがの原因になります。
- ⑩ **ロックレバーを固定しないでください。**

誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- ⑪ **機体からはなれるときは、電源ボタンを押して、電源 OFF にしてください。**
- ⑫ **電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。**
- ⑬ **空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。**

刈刃の損傷や、けがの原因になります。
- ⑭ **回転速度をむやみに上げないでください。**
  - 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
  - 作業の負荷に応じてダイヤルを調整しながら使ってください。  
飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑮ **回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。**

髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。
- ⑯ **次の場合はモーターを停止し、電源を切り、刈刃の動きが止まるのを確認してください。**
  - 作業場所を移動する場合。
  - 作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
  - 機体を身体からはずす場合。  
刈刃が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。
- ⑰ **他の人を 15 m 以内に近づけないでください。**

**また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。**

  - 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
  - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
  - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑱ **刈刃部に草などが巻き付いたときは、すぐにモーターを停止し、電源を切り、蓄電池を取りはずしてから取り除いてください。**
  - 刈刃が停止していない状態で取り除こうとすると、けがの原因になります。
  - 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。



## ⚠ 警告

- ①9 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにモーターを停止し、電源を切り、蓄電池を取りはずし、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
- ②0 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ②1 運搬・短縮時は刈刃を身体から遠ざけてください。両手で保持し周囲に注意してください。  
刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- ②2 刈刃カバーを付属の工具袋に必要なときにすぐ使えるように入れ、常に機体の側に置いてください。
- ②3 機体の運搬・メインパイプの伸縮・保管する場合は、蓄電池を取りはずして、刈刃をはずすか、刈刃カバーをかぶせてください。  
刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- ②4 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。  
特に、メインパイプを短縮した状態では、バランスをくずして、けがをする恐れがあります。
- ②5 メインパイプの伸縮時は機体から肩掛けバンドをはずし、地面において行ってください。また、必ず電源をOFFにし、蓄電池を取りはずしてください。
- ②6 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。  
事故の原因になります。
- ②7 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ②8 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

## ⚠️ 注意

- ① 刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。
- ② 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。  
誤作動等をおこす原因になります。
- ③ 機体を立てて置かないでください。  
不意に倒れ、思わぬけがや故障の原因になります。
- ④ 刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。  
不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ⑤ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。  
破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑥ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取り換えてください。  
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑦ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。  
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑨ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。  
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。  
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

**蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。**

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆に使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

## ⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

## 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



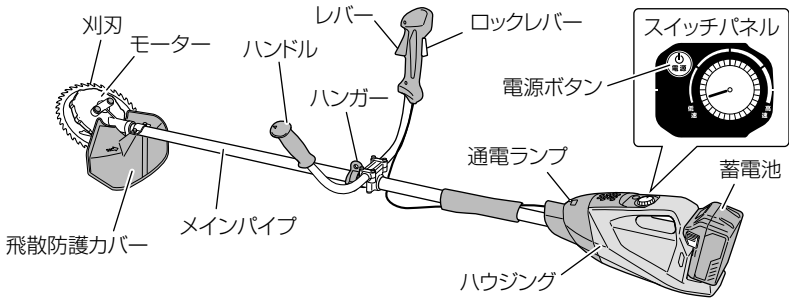
### ○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

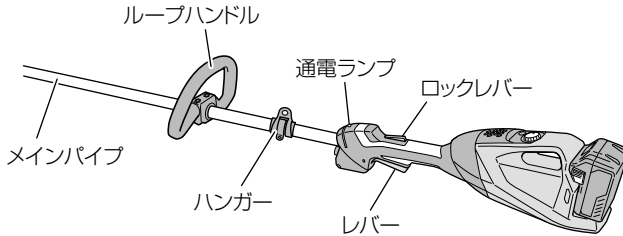
# 各部の名称

## 工具本体

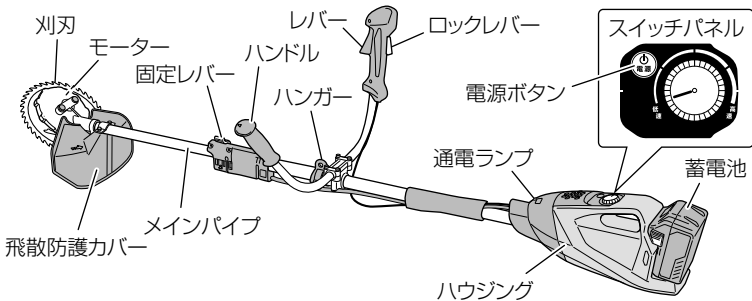
### 両手ハンドル CG 36DA



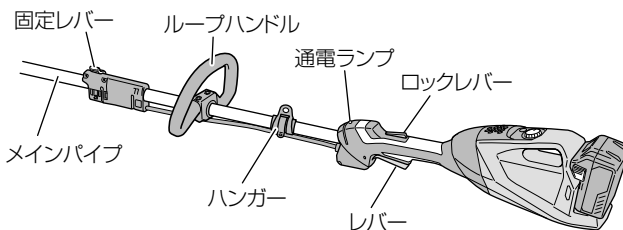
### ループハンドル CG 36DA(L)



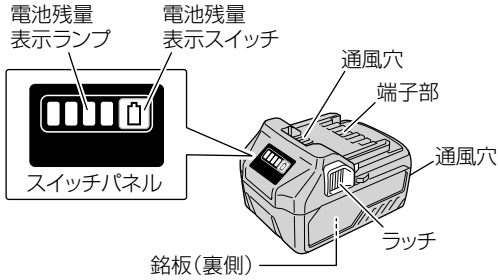
### 両手ハンドル CG 36DTA



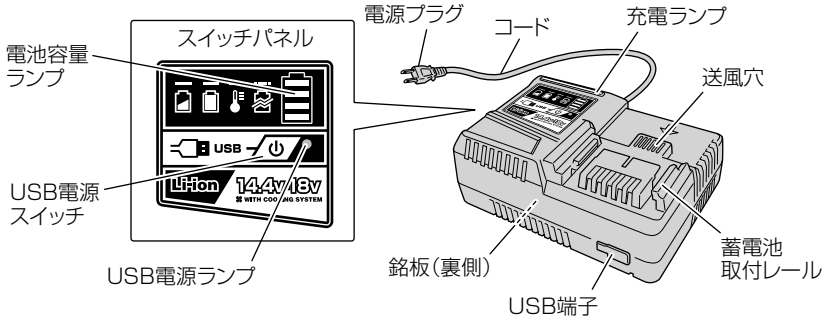
### ループハンドル CG 36DTA(L)



## 蓄電池



## 充電器



# 仕 様

## 1. 工具体体

形 名	CG 36DA	CG 36DA(L)	CG 36DTA	CG 36DTA(L)
操 作 ハ ン ド ル	両手ハンドル	ループハンドル	両手ハンドル	ループハンドル
刈 刃	チップソー (外形 230 mm × 内径 25.4 mm × 刃数 36)			
刈 刃 回 転 方 向	上から見て反時計方向			
刈 刃 回 転 数	4,100 min <sup>-1</sup> (低速) ~ 5,200 min <sup>-1</sup> (高速)			
工 具 本 体 寸 法 <sup>*1</sup> 全長 × 全高 × 全幅	両手 : 1,885 × 620 × 420 mm		両手 : 1,860 × 620 × 420 mm (延長時) : 1,305 × 620 × 420 mm (短縮時)	
	ループ : 1,885 × 295 × 235 mm		ループ : 1,860 × 295 × 235 mm (延長時) : 1,305 × 295 × 235 mm (短縮時)	
質 量 (刈刃、肩掛けバンド含む) <sup>*1</sup>	5.0 kg	4.7 kg	5.3 kg	5.1 kg
運 転 時 間 <sup>*2</sup> [気温 20℃ 満充電時]	BSL 36A18 使用時 : 36 分 (高速)、73 分 (低速)			
モ ー タ ー	ディスクモーター			
使用可能蓄電池 <sup>*3</sup>	マルチボルトタイプ蓄電池			
通 電 ラ ン プ	赤色 LED			

※1 : 蓄電池 BSL 36A18 装着時

※2 : 草の種類や刃物の切れ味、刈刃回転数、使用環境、蓄電池特性などにより異なることがあります。

※3 : 既存の蓄電池 (BSL 3660/3626/3620、および BSL 18xx、BSL 14xx シリーズ) は使用できません。

## 2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	36 V / 18 V (自動切替 <sup>*1</sup> )
容 量	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 <sup>*1</sup> )
冷 却	対応
使 用 可 能 コードレス製品 <sup>*2</sup>	18 V 品 36 V 品 : マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能な充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器
残 量 表 示 ラ ン プ	緑色 LED

※1 : 工具体体により自動で切り替わります。

※2 : 詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。



### 3. 充電器


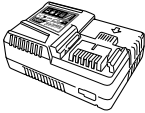


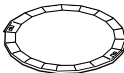
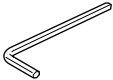
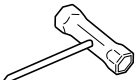

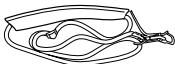
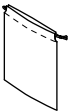
形 名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間*1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分	
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分		
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分		
BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分		BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分			
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コ ー ド		2 心ビニールコード			
質 量		0.8 kg			
使用温度範囲*2		- 10 ~ 40℃			
冷 却		対応 (ファン付き)			
ブ ザ ー 音		あり			

※1: 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2: 周囲温度が 0℃未滿のときは、充電時間が長くなります。

# 標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品名	形名 (仕様)	CG 36DA			CG 36DA(L)			CG 36DTA			CG 36DTA(L)		
		2XP	XP	NN	2XP	XP	NN	2XP	XP	NN	2XP	XP	NN
蓄電池 BSL 36A18 (本体装着 1, 予備 1)		2個	1個	—	2個	1個	—	2個	1個	—	2個	1個	—
充電器 UC 18YDL		1台			—			1台			—		
電池カバー		2個	1個	—	2個	1個	—	2個	1個	—	2個	1個	—
チップソー (外形 230 mm)								1枚					
刈刃カバー								1式					
六角棒スパナ (M5ねじ用)								1個					
ボックススパナ (17 × 19 mm)								1個					
保護メガネ								1個					
肩掛けバンド								1個					
工具袋								1枚					

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

販売店でお求めください。

<p><b>スーパーチップソータイプ</b> (レーザースリット+ 軟質特殊樹脂仕様) 外径 230 mm × 32 枚</p>	<p><b>巴刃</b> 外径 230 mm × 8 枚</p> 
<p><b>チップソー標準タイプ</b> (窓有仕様) 外径 230 mm × 32 枚</p>	<p><b>角形4枚刃</b> 外径 230 mm × 4 枚</p> 
<p><b>チップソー軽量タイプ</b> (メッシュ仕様) 外径 230 mm × 36 枚</p>	<p><b>下刈用チップソー軽量タイプ</b> (メッシュ仕様) 外径 230 mm × 60 枚</p> 
<p><b>丸のこ刃</b> 外径 230 mm × 80 枚</p>	<p><b>ナイロンコードカッタ (M10)</b> <b>打撃タイプ</b> 外径 110 mm</p>  <p>※ ナイロンコードカッタ専用 飛散防護カバーを取付けて 使用してください。</p>
<p><b>すね当て</b> (1 組 2 個入り) 飛散物から 足を守ります。</p>	<p><b>白い皿 (さし込み式)</b> コードの巻き替え不要。 地面に当てて振らずに刈れる。</p> 
<p><b>飛散防護カバー組</b> (ナイロンコードカッタ用)</p>	 <p>前後左右に 滑らせる</p>

# ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、初めてご使用になるとき、分解して保管していたとき、刈刃を交換するときは、次のように組み立ててください。

## ⚠ 警告

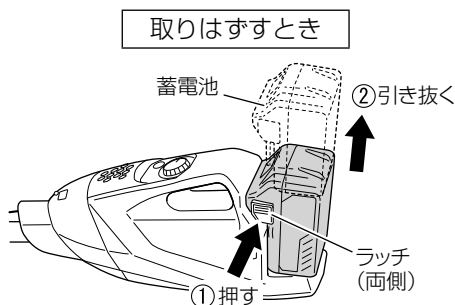
万一の事故を防止するため、必ず電源OFFし、蓄電池を本体から抜いてください。

## ⚠ 注意

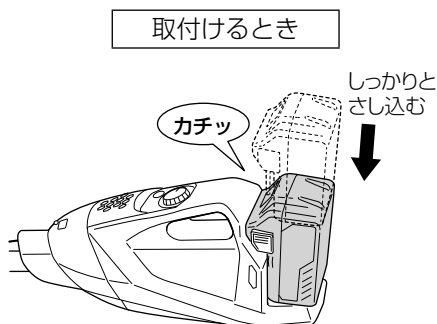
刈刃の取付け・取りはずしの際には、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

## ● 蓄電池の取りはずし・取付け

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

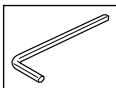


蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。

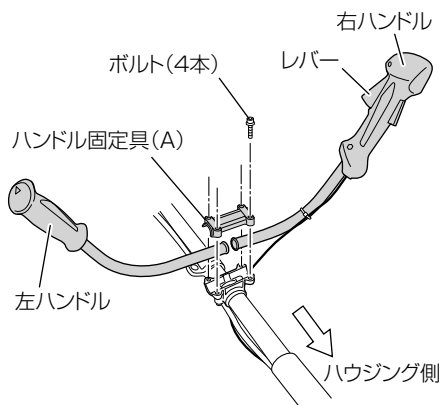


## ●両手ハンドルの取付け【CG 36DA/CG 36DTA の場合】

**注** 取付けには標準付属の六角棒スパナを使用します。

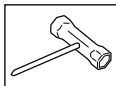


- ① ハンドル固定具 (A) に仮止めしてあるボルト (4本) をはずします。
- ② 右側にレバーが付いている右ハンドルを、左側に左ハンドルを取付け、ハンドル固定具 (A) をボルト (4本) で確実に固定します。

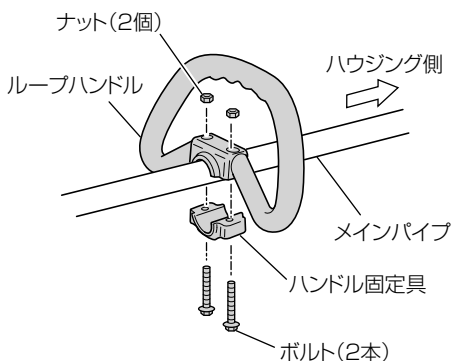


## ●ループハンドルの取付け【CG 36DA(L)/CG 36DTA(L) の場合】

**注** ●ループハンドルは使いやすい位置を決めて固定してください。  
●取付けには標準付属のボックススパナを使用します。



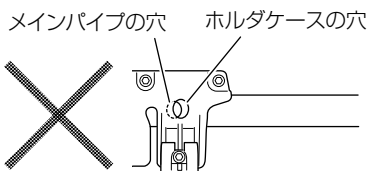
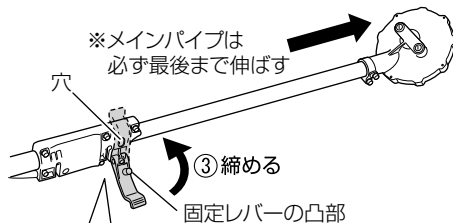
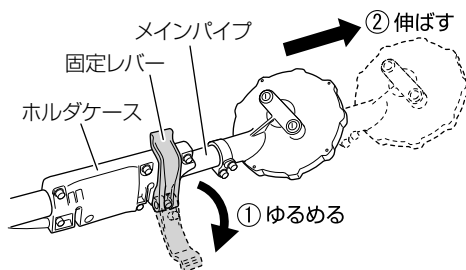
- ① ループハンドルに仮止めしてあるボルト (2本) をはずします。
- ② メインパイプ上側に、ループハンドルがハウジング側に傾くようセットします。
- ③ メインパイプ下側にハンドル固定具を当て、ボルト (2本) とナット (2個) を使用し、確実に固定します。



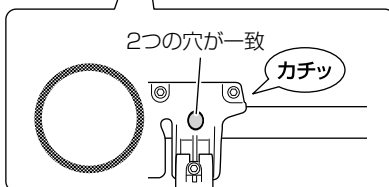
## ●メインパイプの伸ばし方【CG 36DTA/CG 36DTA(L)の場合】

**注** メインパイプを最後まで伸ばさない  
と、モーターが回転しません。

- ① 固定レバーをゆるめると、メインパイプを伸縮させることができます。
- ② メインパイプを最後まで伸ばし、「カチッ」と音がすることを確認してください。
- ③ 「カチッ」と音がするまで伸ばしたら、ホルダケースの穴とメインパイプの穴の位置が一致することを確認し、固定レバーを締め、メインパイプを確実に固定します。



2つの穴が一致しないと  
モーターが回転しません



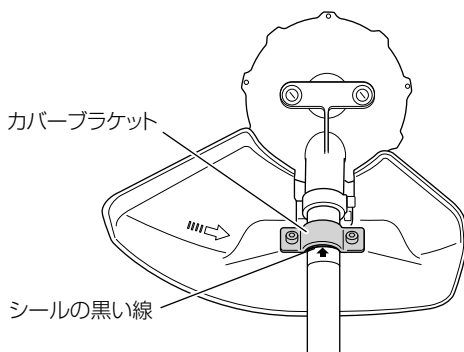
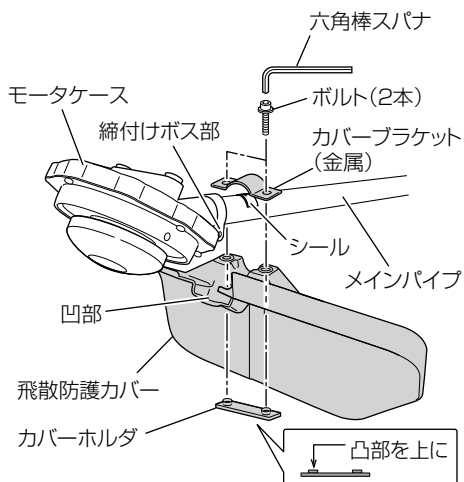
## ●飛散防護カバーの取付け

### ⚠警告

- 飛散防護カバーは必ず所定の位置に確実に取付けてください。  
小石等が飛散した場合、けがの原因になります。
- ナイロンコードカッタを使用する場合は、別売の専用飛散防護カバーを取付けてください。

**注** 取付けには標準付属の六角棒スパナを使用します。

- ① モータケースの締付けボス部と飛散防護カバーの凹部を合わせ、メインパイプの上側にカバーブラケットを当て、ボルト(2本)を飛散防護カバーの穴までさし入れます。
- ② 飛散防護カバーの下側にカバーホルダを当て、標準付属の六角棒スパナでボルト(2本)を交互に締付け、確実に固定します。
- ③ メインパイプに付いている矢印シールの黒い線とカバーブラケットの位置が合っていることを確かめます。  
合っていない場合は、ボルト(2本)をゆるめて、調整してください。



## ● 刈刃の取付け

### ⚠ 警告

- 取付ける前に刈刃にヒビ割れ、変形などがないか、良く調べてから取付けてください。
- 刈刃取付け後は忘れずに六角棒スパナ、ボックススパナをはずしてください。
- 左M10 取付ナット、ナットカバーが摩耗している場合は新品と交換してください。

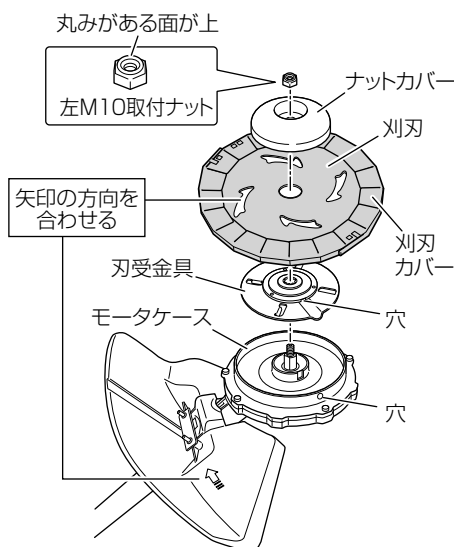
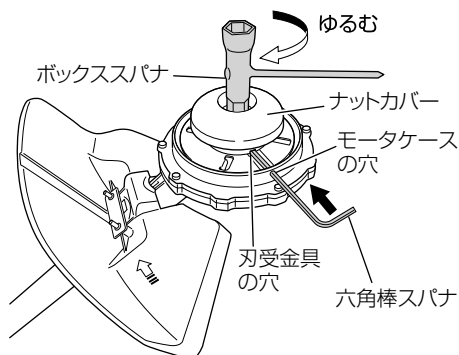
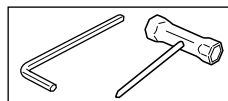
- ① 本機を図のようにさかさにします。
- ② 刃受金具の穴とモータケースの穴を合わせ、標準付属の六角棒スパナを確実に奥までさし込み、回り止めをします。
- ③ 標準付属のボックススパナで左M10 取付ナットを右に回しゆるめ、左M10 取付ナット、ナットカバーをはずしてください。
- ④ 刈刃の取付けは、モータケースに刃受金具、刈刃（刃の向きを確認して）、ナットカバー、左M10 取付ナットの順序で取付けます。
- ⑤ 刃受金具の穴とモータケースの穴に六角棒スパナをさし込み、回り止めします。

- 注** 確実に回り止めしてから左M10 取付ナットの締付け作業、ゆるめ作業をしてください。  
刃受金具が変形し、回り止め故障の原因となります。

### ⚠ 注意

刈刃を取付ける際には、刈刃力カバーを取付け、厚手の手袋を着用するなど、十分に注意して作業してください。

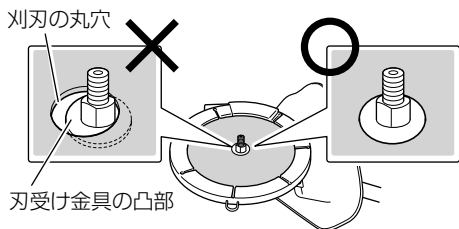
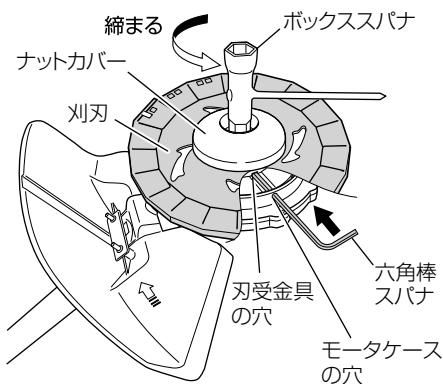
- 注** 取付けには標準付属の六角棒スパナ、ボックススパナを使用します。





⑥ 左M10 取付ナットを刃受け金具の凸部に、刈刃の丸穴がきちんと入った状態で締付けてください。

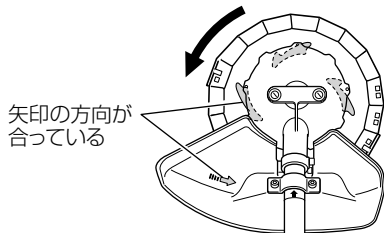
取付ナットを締付けているときにズれることがありますので、注意してください。



### 正しく取付けられているか確認のポイント

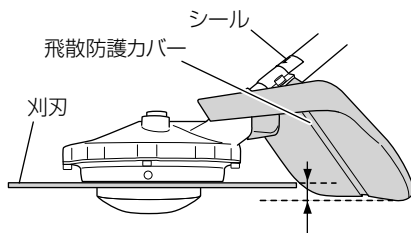
#### 刈刃と飛散防護カバーの矢印の方向が合っている

逆に取付けた場合は、逆の手順で刈刃を取りはずして、再度取付け直してください。



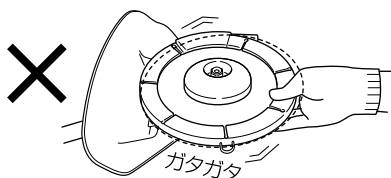
#### 飛散防護カバーの下面より刈刃が出ていない

出ている場合は、再度飛散防護カバーを取付け直してください。  
P.22「飛散防護カバーの取付け」参照



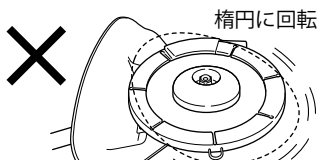
#### 取付け後、刈刃にガタつきがない

ガタつきがある場合は、左 M10 ナットの締付けが足りない可能性があります。一度左 M10 ナットを取りはずして、再度しっかりと締付けてください。



#### 軽く手で回したとき、刈刃が楕円に回転しない

楕円に回転するときは、刈刃の丸穴が刃受け金具の凸部に合っていない可能性があります。一度左 M10 ナットを取りはずして、取付けを確認してから、しっかりと締付けてください。



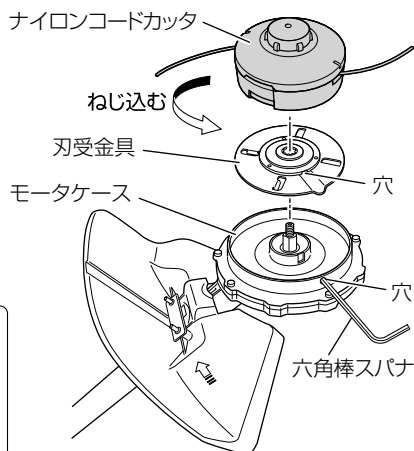
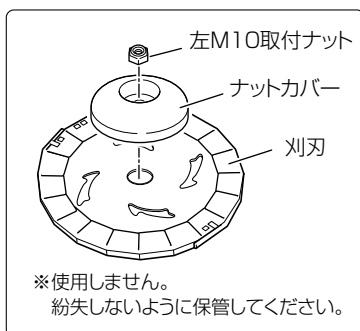
## ●ナイロンコードカッタ（別売部品）の取付け

### ⚠警告

標準付属の飛散防護カバーは刃物専用です。ナイロンコードカッタご使用時には、必ずナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー（別売部品）を取付けのうえ、セットでご使用ください。

- ① P.23「刈刃の取付け」①～③の要領で左M10取付ナット、ナットカバー、刈刃を取りはずしてください。
- ② 六角棒スパナで回り止めしながら、ナイロンコードカッタをモータケースのねじ部に、手でねじ込んでください。

**注** 使用しない左M10取付ナット、ナットカバー、刈刃は紛失しないように保管してください。



## ● ナイロンコードカッター専用飛散防護カバー（別売部品）の取付け

### ⚠ 注意

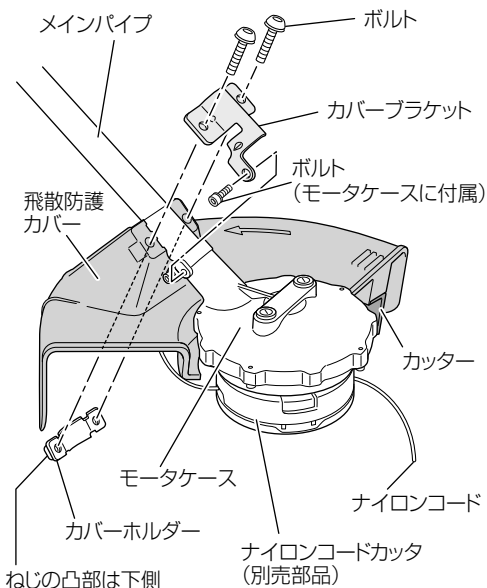
厚手の手袋を着用するなど、十分に注意して作業してください。  
飛散防護カバーのカッターで指をけがする恐れがあります。

- ① 標準付属の飛散防護カバーを取りはずしてください。  
(取りはずし方は、P.22「飛散防護カバーの取付け」の逆順序により取りはずしてください。)
- ② 六角棒スパナでボルト（モータケースに付属）を一度取りはずします。
- ③ はずしたボルトで、カバーブラケットを軽く取付けておきます。

**注** 矢印シールは、カバーブラケットの位置に一致しません

- ④ 飛散防護カバーをカバーブラケット、カバーホルダー、ボルト（2本）でメインパイプに固定します。
- ⑤ ③で仮締めしたボルト（モータケースに付属）を、しっかりと締付けてください。

**注** 再度、刈刃を使用する際は、標準付属品の飛散防止カバーを取付けてください。



## ●肩掛けバンドの取付けと使い方

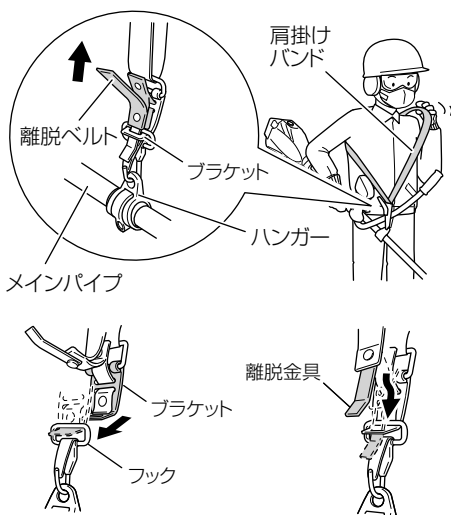
### ⚠警告

- 作業時は肩掛けバンドを必ず着用し、機体を正しく保持してください。
- 危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの離脱ベルトを引いて、刈払機を身体からはなしてください。
- 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。  
特に、メインパイプを短縮した状態では、バランスをくずして、けがをする恐れがあります。  
(CG 36DTA / CG 36DTA(L)の場合)

### ⚠注意

- 離脱時は他方の手で機体のメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを引いてください。  
機体を支えないで離脱ベルトを引くと、機体が足の上に落ち危険です。
- 肩掛けバンド装着前に、肩掛けバンドに切れ・ほつれ・損傷等がないことを確認し、正しく使用してください。
- 肩掛けバンド装着前に、フックやハンガーに変形・損傷がないことを確認してください。  
損傷がある場合は、新品と交換してください。
- 肩掛けバンド装着後に機体を押し下げ、フックが容易にはずれたり、肩掛けバンドがゆるんだりしないことを確認のうえ使用してください。
- 作業前に離脱機能に異常がないことを確かめてください。

- ① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。
- ② 肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。
- ③ 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。
- ④ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。
- ⑤ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。



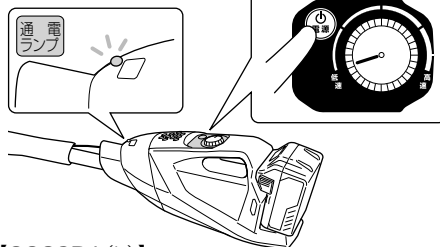
# 通電ランプについて

本機は通電ランプによりさまざまなお知らせをします。

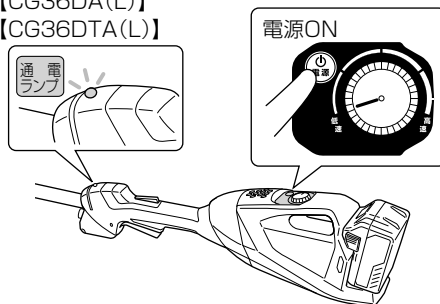
ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ表示	本機の状態
消灯	電源 OFF
赤点灯	電源 ON 作動できる状態です。
赤点滅	保護回路作動中です。 P.32「刈払い作業上のご注意」を参照してください。
赤の速い点滅	メインパイプが最後まで伸びていないため、作動できない状態です。 (CG 36DA / CG 36DTA(L)の場合)

【CG36DA】  
【CG36DTA】



【CG36DA(L)】  
【CG36DTA(L)】

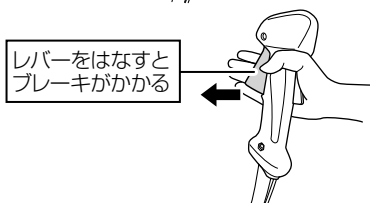
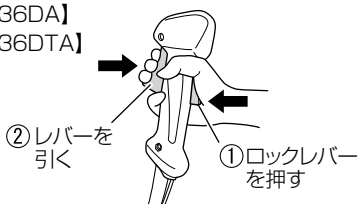


# レバー操作とブレーキについて

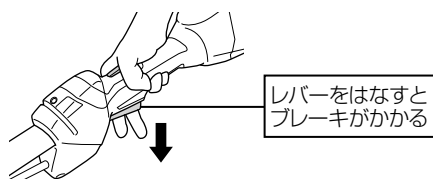
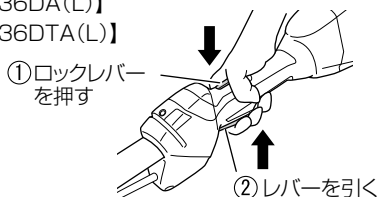
電源 ON の状態で、ロックレバーを押しながらレバーを引くと、刃が回ります。  
また、本機はレバーをはなすと、1～3秒後に刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前にブレーキがかかることを確認してください。

【CG36DA】  
【CG36DTA】



【CG36DA(L)】  
【CG36DTA(L)】

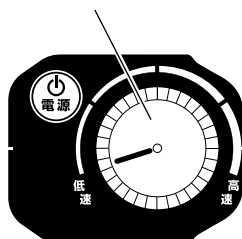


# 変速ダイヤルについて

ハウジング部には回転数を4,100～5,200回転に変速する変速ダイヤルが付いています。

変速ダイヤルを時計回りに回すと高速、反時計回りに回すと低速になります。

変速ダイヤル



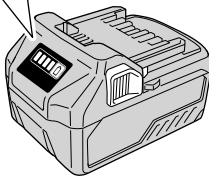
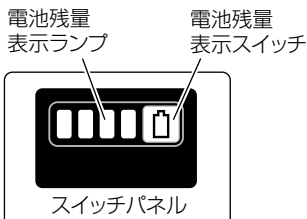
# 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 <sup>*1</sup>
		故障のため出力停止 <sup>*2</sup>

※1: 蓄電池を工具本体から取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

# キックバックについて

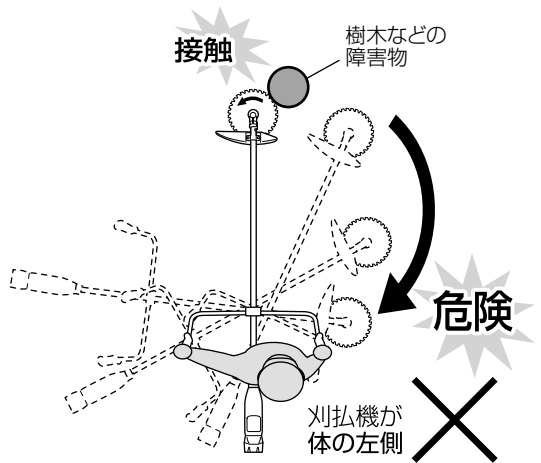
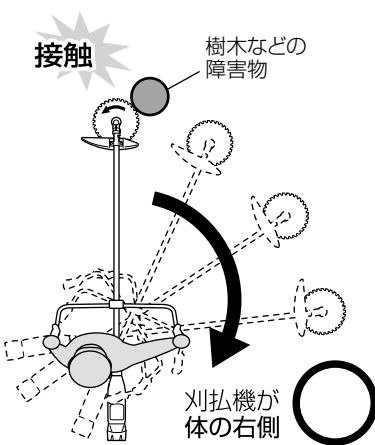
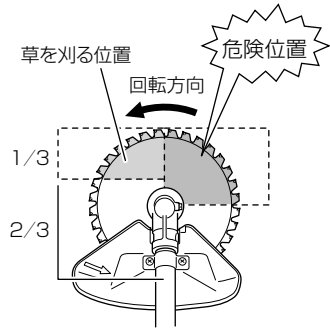
チップソーなど、金属製の刈刃を使用中に、刈刃の先端から右側部分が樹木などの障害物や硬い地面に接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。

雑草などで隠れている切り株や石などに刈刃が接触してキックバックを起こすことがあります。

雑草の中にそのような障害物がないかよく確認してから作業してください。

万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、刈払機を体の右側にして作業してください。

作業者を中心にして、刈刃部が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。





## 刈払い作業上のご注意

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、過負荷保護回路が搭載されています。刈払い作業中に過負荷（刈刃のロック等）が続く場合、過負荷保護回路が作動しモーターが停止します。その際はいったん電源を OFF し、過負荷の原因を取り除いてください。

モーター停止後もレバーが引かれていると通電ランプが赤く点滅します。通電ランプの点滅が5秒間経過しますと、自動的に電源 OFF となります。その際は過負荷の原因を取り除いてから、もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。

# 草を刈る

## ⚠ 警告

- 刈刃カバーを取付けたまま、レバーを引かないでください。
- 常に足元をしっかりとらせ、スリッパなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。  
あまり急でない急傾斜地で使用する場合は、等高線方向に刈り進んでください。
- 刈刃が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中刈刃をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。
- 電源 ON にしたまま本機を放置しないでください。  
事故の恐れがあります。

## オートパワー OFF について

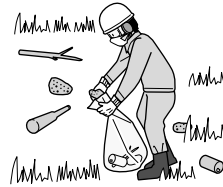
電源 ON で、レバーが引かれない状態が 1 分間経過しますと、自動的に電源 OFF となります。電源を入れるためには、再度電源ボタンを押してください。

## 刈払いのコツ

- 回転が低すぎると力がなく、草もからみやすくなります。回転が高すぎると刈刃磨耗が速くなる、振動・騒音が大きくなる、電池消費が多くなるなどの原因になります。
- 回転速度をむやみに上げると、電池の消耗を早めます。
- 右図に示す刈刃直径の 1/3 の部分で刈ると、切れ味が良く、また草の巻き込みも少なく能率的です。
- 刃の跳ね返り（キックバック）に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢いよく跳ね返されますので注意してください。

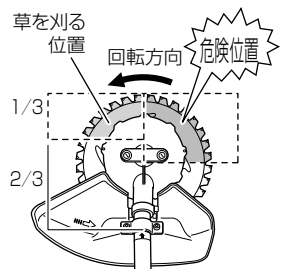
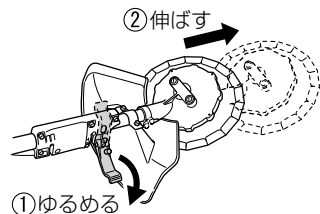
## 1 作業場所を整備する

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛ばされることがあります。
- 取り除く事のできない物は、あらかじめ目印を付けてください。



## 2 メインパイプを伸ばす (CG36DTA / CG36DTA(L) の場合)

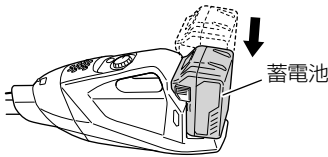
メインパイプを最後まで伸ばしてください。(P.21 「メインパイプの伸ばし方」参照)



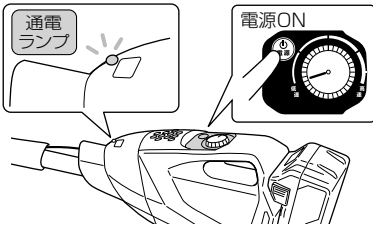
### 3

## 蓄電池を取付けて電源を入れる

- 下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



- ハウジング部の電源ボタンを押すと、電源 ON となり、通電ランプが赤く点灯します。
- 再度電源ボタンを押すと、電源 OFF となり、通電ランプが消灯します。



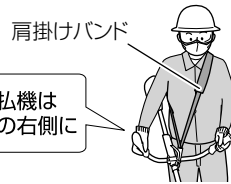
- 注** メインパイプが最後まで伸びていないと、通電ランプが赤く速い点滅をします。  
(CG 36DTA / CG 36DTA(L) の場合)

### 4

## 刈払機を保持する

- 肩掛けバンドを右手と頭に通して左肩にかけます。  
(P.27「肩掛けバンドの取付けと使い方」参照)

- 注** 本機は、刈払機を体の右側で操作する構造となっております。刈払機を体の左側で使用しないでください。

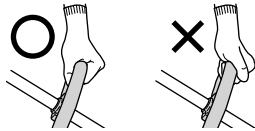


- ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。

【両手ハンドルの握り方】



【ループハンドルの握り方】

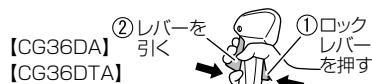


### 5

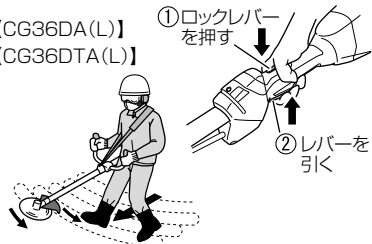
## 草を刈る

- 右手でハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引くと刈刃が回転します。
- 体重の移動が容易で、安全な体勢をつくってください。
- メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。  
(P.31「キックバックについて」参照)
- 刈払い作業をしないときはレバーをはなし、必ず回転を停止してください。

- 注** モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、故障の原因になります。



【CG36DA(L)】  
【CG36DTA(L)】



# 蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

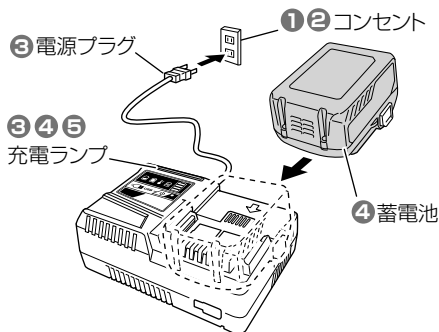
## ⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 充電時間

BSL 36A18 : 約 25 分

**注** 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.36「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。  
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音:約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯  (断続ブザー音:約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

**注** 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

## ●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	点滅	点滅	点滅	点滅	点灯
	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

**注** 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

### ⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

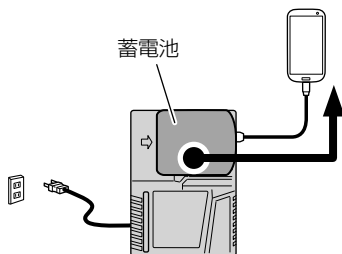
電源のない場所で弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
  - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.43「故障診断」参照)。
  - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
  - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

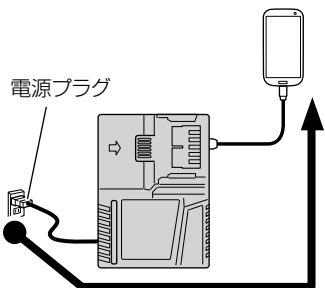
## 1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

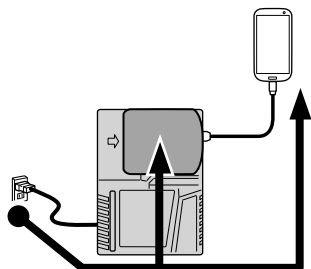
### 蓄電池から USB 機器を充電



### 100V コンセントから USB 機器を充電



### 100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



## 2 USB 電源スイッチを ON にする

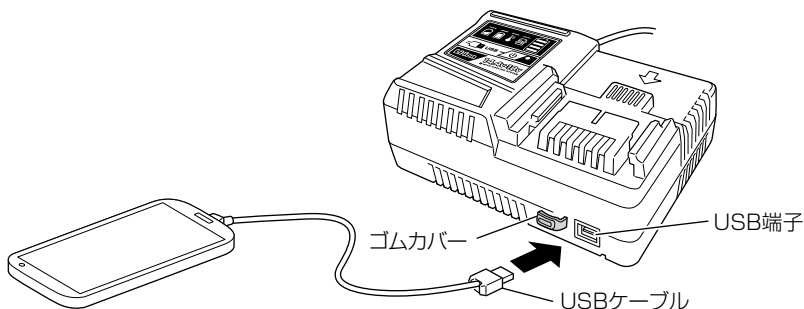
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ  
USB電源ランプ

## 3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

## 4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

# 保守・点検・整備

## 警告

点検・お手入れの際は、必ず電源 OFF し、蓄電池を工具本体から抜いてください。  
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ● 刈刃の点検

刈刃に刃先の欠け、ヒビ割れ、傷、曲がり、偏心などがないか必ず点検してください。  
異常がある場合は、新品と交換してください。なお、点検の際は、必ず手袋などで手を  
保護し十分注意してください。

### ● モーターの取扱いについて

モーター (P.13「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

### ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用し  
ないでください。

**注** 作業後は、メインパイプに付着した草や土などの汚れをよく落としてください。  
CG 36DTA/CG 36DTA(L) の場合、メインパイプの伸縮ができなくなることが  
あります。



## ●本体の運搬

### ⚠警告

- 蓄電池をはずし、刈刃に刈刃カバーを取付けて本体を運搬してください。刈刃カバーを取付けずに運搬すると、刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- 刈刃を遠ざけるように両手で持って、運搬してください。

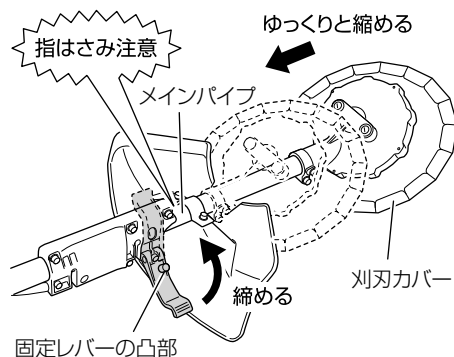
### CG 36DTA / CG 36DTA(L) の場合

固定レバーをゆるめ、メインパイプを縮めます。固定レバーの凸部がメインパイプに突き当たるまで締めます。これで本体をコンパクトにすることができます。伸縮は、どの位置でも固定できます。運搬・保管しやすい長さに固定してください。

### ⚠注意

メインパイプを縮めるときは、先端工具、および指はさみに注意してください。  
(CG36DT/CG36DTA(L) の場合)

【CG36DTA】  
【CG36DTA(L)】



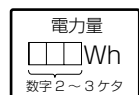
## ●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

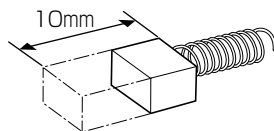


## ●カーボンブラシの点検と交換方法

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

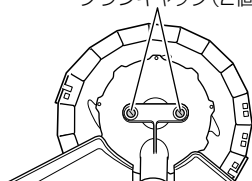
**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



### 1 ブラシキャップをはずす

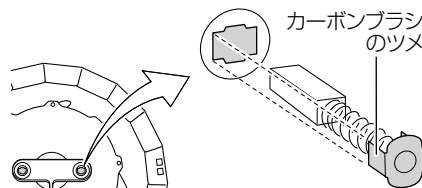
マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。

ブラシキャップ(2個)



### 3 新しいカーボンブラシを取付ける

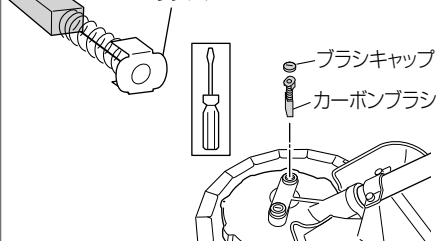
カーボンブラシを指で押し込みます。



### 2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで引っ掛けて、取出します。

カーボンブラシのツバ



### 4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押し込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

# 保管方法

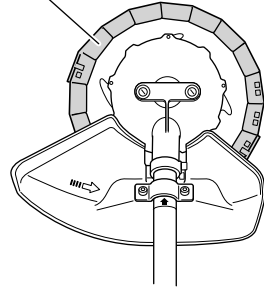
損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。

刈払機を移動、保管する場合は、安全のため、必ず標準付属の刈刃カバーを取付けてください。

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

刈刃カバー

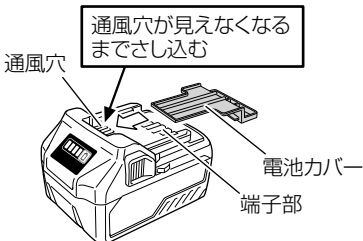


## ● リチウムイオン電池の保管について

### 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

## 1. 工具本体

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取り除いてください。 また、蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。 また、蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
	電源が入っていない	ハウジング部の電源ボタンを押し、電源を入れてください。 また、本機にはオートパワー OFF 機能が搭載されており、電源 ON でレバーが引かれない状態が 1 分間経過しますと、自動的に電源 OFF となります。 電源を入れるためには、再度電源ボタンを押ししてください 電源ボタンを 2 回押しすると電源 OFF 状態に戻ります。
	メインパイプが最後まで伸びていない (通電ランプは赤の速い点滅) (CG36DTA/CG36DTA(L) の場合)	本機は、誤作動による事故を防ぐため、メインパイプを最後まで伸ばさないとモーターが回転しない構造となっています。 メインパイプを「カチッ」と音がするまで確実に伸ばしてください。
	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。 ハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。
	大量の草を刈込んで、飛散防護カバーと刈刃に巻き付き、過負荷状態になっている	蓄電池および機体を保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったん電源 OFF し、蓄電池を取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。 もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。

状 況	原 因	対 策
動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具の本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。
	固定レバーが締められておらず、メインパイプが作業中に縮む (通電ランプは赤の速い点滅) (CG36DTA/CG36DTA(L)の場合)	固定レバーを締めてください。
変速しない	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。
振動が大きい	刈刃が正しく取付けられていない	刈刃を再度取付け直してください。
	刈刃にひび、割れ、曲がりがある	刈刃を交換してください。
	ハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
	飛散防護カバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定してください。
刈刃の切れ味が悪い	刃先が痛んでいる	刈刃を研ぎ出すか、交換してください。
	回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に刈刃を取付け直してください。
レバーをはなしても1～3秒の間にブレーキがかからない	本体の異常と考えられる	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。
刈刃が回らない	刃受金具が正しく取付けられていない	刃受金具を取付け直してください。
	刈刃がゆがんでいる	刈刃を交換してください。

## 2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>